

和歌山だより

令和5年 第179号
(2023)

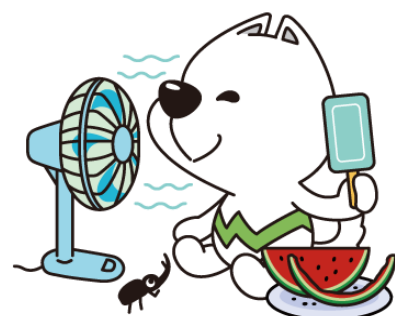


和歌山マリーナシティ 花火（和歌山市）

夏の風物詩といえば夜空を彩る花火。諸説ありますが、江戸時代に飢餓と疫病が全国を襲った時に8代目将軍・徳川吉宗が死者の慰霊と悪疫退散を願って水神祭を行い、花火を打ち上げたのが花火大会の起源と言われています。
(写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 13
- 3 お知らせ p. 14 ~ 29
- 4 ふるさと歳時記 p. 30 ~ 31



コロナとの新しいつき合い方

今年の夏休みは、コロナ禍を乗り越えて、久し振りに明るく楽しいものになりそうです。

5月から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが制限の厳しい2類からインフルエンザと同じ5類となりました。

基本的な感染対策は個人や事業者の自由な判断にまかされ、一部を除き、医療費なども自己負担になりました。ただし、当分の間ワクチンは無料です。8月までは高齢者や基礎疾患のある方などが対象で、9月から12月は5歳以上のすべての人が対象です。

国内の旅行者のみならず、インバウンドの観光客も戻ってきました。いろいろなイベントや会合も3年ぶりに開かれる機会が増えてきました。夏祭りも楽しみですね。

コロナ前には、高齢者の皆さんも家から外に出る機会が多くて、そのことが健康寿命を延ばすことにつながっていました。これから、からだを動かし、お友達とおしゃべりし、笑いに満ちた生活を取り戻しましょう。子供たちにも学校生活を楽しんでほしいですね。

もちろん、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な使用など自主的な感染対策は必要です。高齢者や基礎疾患のある方など重症化リスクの高い皆さんには特に気配りが必要です。

不必要にこわがることはありませんが、まだまだ油断はできません。感染症対策を怠らず、コロナとの新しいつき合い方をさがしながら、元気で明るい生活を目指していきましょう。

和歌山県知事 岸本 周平



知事記者会見にて

●令和5年梅雨前線による大雨被害等について

令和5年梅雨前線による大雨が6月2日から3日にかけて本県を襲いました。人的被害としては、2名の方がお亡くなりになり、いまだ1名の方の行方が分かっておらず、関係機関による捜索が続いています。

線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が長時間降り続いたことで、急速に河川の水位が上昇し、越水・いっすい溢水が起こったことなどにより、住宅地など随所で浸水被害が発生しました。住家被害は、海南市、有田市など紀北地域を中心に、6市12町で全壊8棟、半壊・一部損壊



崩落した樹園地（有田川町）

43棟、床上浸水892棟、床下浸水2,018棟にのぼっています（7月4日現在）。

農林水産業では、農業用施設への被害が最も深刻です。法面崩壊等の農地被害やかんきつ類をはじめとした農作物等にも多くの被害が発生しており、被害総額は約130億6,600万円にのぼりました（7月4日確定報）。



公共土木施設の被災の状況（海南市下津町中）

また、公共土木施設では、河川護岸決壊や道路法面の崩壊などの被害が発生し（河川640箇所、道路261箇所、その他砂防、橋梁、港湾施設など20箇所）、被害総額は約153億7,700万円にのぼりました（7月6日確定報）。

活動に大きな影響を及ぼしました。

県では、岸本知事が発災後間もなく、被害が大きかった現場に入って、被害状況を視察するとともに、被災された方々から直接お話を伺いました。そして、被災された方々が一刻も早く元の生活を取り戻し、事業や営農の再開ができるよう、様々な対策を講じてきました。

まず、広範囲に多数の床上浸水被害が発生し



被害の現場を視察する知事

た海南市について、6月5日に災害救助法の適用を決定し、準半壊以上の住宅の応急修理、学用品や日用生活品の提供等、応急対応の迅速化に向けた支援を行いました。また、海南市の他、全壊被害のあった紀美野町、九度山町について、全壊や大規模半壊などの住宅被害に遭われた方々の住宅の再建や補修などに対する給付ができるよう、6月21日に被災者生活再建支援法の適用を決定しました。

次に、被災市町の復旧対策や被災者支援の対策が円滑に推進できるよう、発災後の早い段階から3市6町に県職員を派遣し、住家被害の状況調査の他、公共土木施設や農地等の災害査定に関する調査業務等の支援を行いました。

また、6月27日に内閣府より、農地等については全国が対象となる本激、公共土木施設については紀美野町が局激として激甚災害に指定される見込みが発表されました。今後、国における手続きを経て、正式に激甚災害に指定されれば、災害復旧事業の国庫補助率の嵩上げ等の措置が執られることになり、一層迅速な復旧につながるものと期待しております。

このような中、県内外から多くのボランティアの方々が被災地へ駆けつけてくださり、泥かきや畳上げ、浸水した家財の運び出し等に御協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

なお、県では、この度の災害により被災された方々を支援するため、「和歌山県令和5年台風第2号災害義援金」を9月30日まで募集しております。



ボランティア活動の様子

皆様からの心温まる御支援をよろしくお願いいたします。

<和歌山県令和5年台風第2号災害義援金>

◎受付期間 令和5年6月21日から9月30日まで（紀陽銀行県庁支店以外は9月29日まで）

◎義援金受入口座

金融機関	口座番号	口座名義
紀陽銀行県庁支店	普通 417386	和歌山県令和5年台風第2号 災害義援金
ゆうちょ銀行	00960-5-213145	
きのくに信用金庫本店営業部	普通 2683944	
和歌山県信用農業協同組合連合会本所	普通 0009116	

* 義援金の課税上の取扱い及び手数料等の詳細は、県福祉保健総務課ホームページを御覧ください。

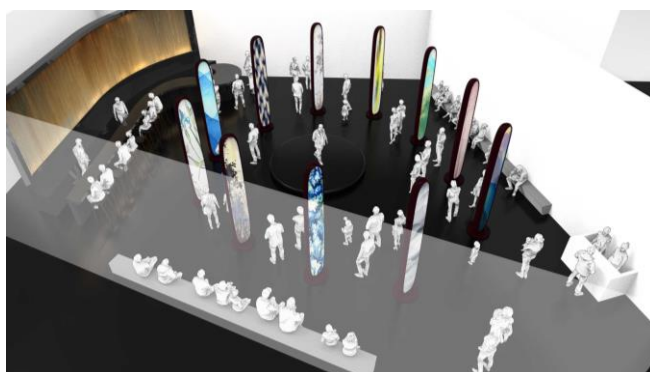
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040100/d00213615.html>



●大阪・関西万博に向けた和歌山県版アクションプランを策定しました！

2025（令和7）年4月13日から10月13日にわたって開催される「2025年大阪・関西万博」は、約2,820万人の来場者が想定され、日本経済の底上げにつながる一大イベントです。

県では、5月に大阪・関西万博における和歌山ゾーンの「出展基本方針」を、6月には「出展基本計画」を策定



和歌山ゾーンの空間構成イメージ

しました。さらに、今後の和歌山ゾーンの構築推進に関して、前月号（第178号）でお伝えした「和歌山未来創造プラットフォーム」の文化・芸術ワーキングチームリーダーである吉本英樹さん（東京大学先端科学技術研究センター特任准教授）に「和歌山ゾーン構築総合ディレクター」に就任いただきました。

このような中、万博開催による経済効果を本県にも最大限に波及させ、県内の地域活性化につなげるべく、万博会場にとどまらず、本県の魅力を国内外に広く発信し、観光誘客の促進やビジネス機会の創出などに取り組む必要があることから、この度「和歌山県版アクションプラン」を策定しました。



和歌山ゾーンの展示イメージ

本アクションプランに掲げる主な取組事項として、関西パビリオン（万博会場に関西広域連合が設けるパビリオン）内に設ける「和歌山ゾーン」にて、「和歌山百景－靈性の大地－」をテーマとし、神話時代から続く和歌山の精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「“上質”のつ

まった和歌山」というコンセプトをもって表現するとともに、万博会場内で県内各地の魅力ある資源や取組などを国内外に発信する催事を企画していきます。

また、県内での機運醸成イベントの開催をはじめ、国内外からの誘客に向け、商品造成や誘客プロモーションを実施するなど様々な取組を予定しています。

県は、大阪・関西万博の成功に向け、これらの取組を強力に推進していきます。

出展基本計画とアクションプランの詳細は下記QRコードから是非御覧ください！！

大阪・関西万博 関西パビリオン
和歌山ゾーン出展基本計画



和歌山県版
アクションプラン



* 今後、必要に応じて随時
内容を更新していきます。

●令和5年和歌山県知事表彰式を開催しました！

「和歌山県知事表彰」は、公共の福祉増進に功労があった方やその他広く県民の模範となるべき方の功績の顕彰を目的とした表彰で、昭和28（1953）年に開始してから前回まで延べ5,278名、311団体の方々を表彰してきました。

5月30日に71回目となる「令和5年和歌山県知事表彰式」を開催し、本県への多大な御尽力に感謝の思いを込めて48名5団体の方々を表彰しました。

式典では、司会者から受賞者の皆さんの御功績を紹介し、各功労部門の代表



代表挨拶の様子

者の方に知事から表彰状と記念品をお贈りしました。

続いて、教育、文化等の振興に功績のあった松原敏美^{まつばらとしみ}さん（和歌山イコール会議代表）から受賞者を代表して、これまでの活動を振り返りながら、支えてくれた方々への感謝の気持ちや今後の決意と抱負を述べていただきました。

県としましては、県民が笑顔になる和歌山を築くため、受賞者の皆さんの御協力も得ながら、引き続き前例にとらわれず、様々な施策に果敢に挑戦していきます。



各功労部門の代表者への表彰状・記念品授与の様子

■令和5年和歌山県知事表彰受賞者の皆さん

（順不同・敬称略）

地方自治の振興

議員や自治会長として長年にわたり地方自治の発展に尽くされた方々

磯崎 誠治／小森 正人／新家 弘／宮井 健次 （4名）

保健福祉の増進

民生委員・児童委員や医師などとして長年にわたり地域の福祉や医療、保健の発展と向上に尽くされた方々

大久保 尚洋／奥村 里枝子／片岡 邦浩／島村 辰彦／谷口 友志／中出 健志／南木 和子
前田 司枝／前田 至規／和田 町子 （10名）

環境衛生の向上

生活・食品などの衛生水準の向上等を通じ、環境衛生の充実に尽くされた方々

出立 正則／新田 みどり （2名）

暮らしの安全及び向上

地域の防災、防犯、交通安全指導などを通じ、県民生活の安全を確保し、その向上に尽くされた方々

新宅 さよ子／寺崎 鈴子／田又 厚子／津山 眞里子／高松地区防災会／谷本 宗城
橋本 雅夫／玉置 成夫 （7名・1団体）

教育、文化等の振興

私学振興、文化を通じた地域の振興、青少年の育成などに尽くされた方々

川合 廣征/寺川 剛央/中島 章雄/和歌山市民オペラ協会/荻野 昭裕/和歌山イコール会議
増元 貞夫 (5名・2団体)

産業の振興

商工業、農林業、建設業など各分野での活動を通じ、業界の振興及び育成発展に
尽くされた方々

泉 英二/久保木 弘/小久保 好章/古田 耕造/山本 進三/花田 優/成瀬 宏司
池田 祐輔/杉 勝則/赤坂 好哉/太田 直廣/楠本 健次/西岡 嗣郎/原 正昭
小池 康之/小椋 孝一/森野 勝/鈴木 史郎 (18名)

ボランティア

精力的なボランティア活動により住民福祉の発展に尽くされた方々

木野 学/点字の広場 (1名・1団体)

地域おこし

様々な分野での新たな取組により地域の活性化に尽くされた方々

あらぎ島景観保全保存会/坂下 美智子 (1名・1団体)

●観光誘致や県産品の輸出等に向けた取組のため香港を訪問しました！

岸本知事は、7月17日から19日の日程で香港を訪問しました。

EGL ツアーズ訪問

■日 時：7月17日（月）19時30分～22時00分

■場 所：龍皇酒店

知事は、県内の観光事業者10社15名と共に、香港における訪日団体旅行の取扱いが最大であるEGLツアーズの袁社長を訪問し、昨年10月の水際対策の大幅緩和後に和歌山県へ多くの団体旅行客を送客していただいていることへのお礼を述べるとともに、袁社長が県の観光大使に就任いただいて10周年にあたることから感謝状を贈呈しました。



袁社長と知事

本県のインバウンドの取組において最も重要な地域の一つである香港において、成長を続けるEGLツアーズとの関係をより一層強化できたことは、今後の本県への更なる観光客誘致につながるものと考えています。

在香港日本国総領事（大使）表敬訪問

■日 時：7月18日（火）10時00分～11時00分

■場 所：在香港日本国総領事館

知事は、岡田健一総領事（大使）を表敬訪問し、岡田総領事（大使）から香港の概況について説明を受け、また和歌山県への観光客誘客や県産品の販路拡大のための香港における戦略について意見交換を行いました。



岡田総領事（大使）と知事

香港貿易発展局マーガレット・フォン総裁との会談

■日 時：7月18日（火）12時00分～13時30分

■場 所：香港市内レストラン

知事は、和歌山県と2013（平成25）年に「相互協力に関する合意書」を締結した香港貿易発展局のマーガレット・フォン総裁と会談し、これまでの経済交流の成果や、現在の香港の経済情勢等について意見交換し、香港貿易発展局が主催する国際見本市への参加などを通して積極的な交流を進めていくことで合意しました。



マーガレット・フォン総裁と知事

味珍味（香港）有限公司訪問

■日 時：7月18日（火）14時15分～15時30分

■場 所：味珍味（香港）有限公司

知事は、香港有数の日本産食品輸入商社である味珍味（香港）有限公司においてデニス社長と面会し、これまでの県産品の継続的な取扱いや、香港そごうでの「和歌山フェア」開催についてお礼を述べるとともに、冷凍梅をはじめとする県産果実や加工食品の取扱いの拡大を依頼しました。



デニス社長との面会の様子

香港そごう視察

■日 時：7月18日（火）16時00分～17時00分

■場 所：香港そごう

知事は、香港有数の高級百貨店である香港そごうコーズウェイベイ店を訪問し、澤田店長の案内のもと、味珍味（香港）有限公司が主催する和歌山フェア会場や店内の青果売り場、本県産桃を使用したケーキフェアが展開されている Italian Tomato 香港を視察するとともに、更なる県産食品の販売促進を依頼しました。



視察の様子

香港ブックフェア視察

■日 時：7月19日（水）10時00分～11時00分

■場 所：香港コンベンション&エキシビションセンター

知事は、今年で33回目の「香港ブックフェア」を視察しました。「香港ブックフェア」は香港貿易発展局が主催する来場者100万人を誇る香港最大のBtoCイベントです。スポーツ&レジャーエキスポ部門のジャパンパビリオンに和歌山県ブースを出展しています。知事は地元TV局の番組で、岡田健一大使と一緒に和歌山県の宣伝を行いました。



和歌山県を大いに宣伝しました！

● 「JTの森 中辺路」 森林保全活動に参加しました

県では、企業・団体の皆さんに CSR や社会・環境貢献活動などの一環として、手入れの行き届かない森林の整備を進めていただく「企業の森」事業を展開しています。

日本たばこ産業株式会社（JT）の皆さんには、2005（平成 17）年から 18 年間にわたり「企業の森」事業に参画いただいております、また本県の「企業の森」では最も面積が大きい約 54ha に及ぶ森林の整備に御協力いただいております。

これまで、21 万本を超える植樹をはじめ、社内への紀州材ベンチ設置、本県への紀州材パーテーション寄贈、SDGs ピンバッチ・生分解性プラスチックを使ったタンブラー製作など様々な活動を展開されています。



参加者の皆さんとの記念撮影

記念植樹の様子
(左から真砂田辺市長、知事、JT マーヴェラスの選手の皆さん)

このような中、6 月 10 日、「JT の森 中辺路」（田辺市中辺路町野中地内）において、JT 社員、その御家族約 70 名、女子バレーボールチーム「JT マーヴェラス」の選手が参加さ

れ、下草刈り、補植、道普請など森林保全活動が行われました。知事は活動状況の視察のほか、真砂充敏田辺市長、JT マーヴェラスの選手の皆さんと一緒に記念植樹を行いました。

今後もより多くの企業・団体の皆さんに参画いただけるよう、働きかけを行い、古くから「木の国」と呼ばれてきた本県の貴重で豊かな森林を守っていきます。

●第22回わかやま環境賞表彰式を開催しました

県では、県民の皆さんの環境保全に関する意識の高揚と行動の促進を図るため、2002（平成14）年に「わかやま環境賞」を創設し、県内において優れた環境保全活動を行う個人、又は団体を表彰しています。

22回目を迎える今回は6団体の方々に各賞をお贈りしました。



受章者の皆さんと知事

わかやま環境大賞を受賞された「株式会社大瀧商店」は、廃棄物を利用して、独自の製鋼副資材（フォーミング抑制剤）の開発・製造を行っており、その優れた性能により全国の製鉄所から高い評価を得ています。その他の取組も積極的かつ献身的に環境保全に取り組まれたものばかりであり、今後、同様の取組が広がっていくことを期待しています。

■第22回わかやま環境賞受賞者の皆さん

（敬称略）

賞	受賞者	市町村	功績概要
わかやま環境大賞	株式会社大瀧商店	紀の川市	コークスの使用を減らすため、廃棄物を利用した製鋼副資材を開発し、環境保全に取り組んでいる。
わかやま環境賞	ぶどう山椒の発祥地を未来へつなぐプロジェクト	有田川町	ぶどう山椒の未使用資源を使った商品開発を行い、廃棄物の減量に努めている。
	近畿大学附属和歌山中学校	和歌山市	海洋プラスチックごみ調査や企業と連携したリサイクル製品を開発する等、環境保全の啓発に取り組んでいる。
	島島海岸生物群集一世紀間調査グループ	白浜町	50年にわたり、海洋生物群集モニタリング調査を続け、生物の保全活動に取り組んでいる。
	株式会社ソマノベース	田辺市	土砂災害による人的被害をなくすため、誰もが森林保全に参加できる活動を実施している。
特別賞	北山村立北山小学校3年生	北山村	アサギマダラの渡りを助けるために調べ学習や観察をし、生物の保全活動を行っている。

●企業誘致の実績について（4月～6月）

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の働き方は大きく変化し、またテレワークを可能にするコミュニケーションツールの急速な普及により、企業・個人の地方分散の動きが進みました。

このような状況の中、県ではビジネス環境の良さと安全で快適な生活環境といった強みを活かした「New Work × Life Style」を提案し、IT企業等の誘致を積極的に行ってきました。

これまでの取組の成果として、4月～6月にも複数の企業と進出協定を締結しましたので御紹介します。

県では引き続き、和歌山県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、本県への企業誘致を進めていきます。

（氏名は敬称略）

① **omeroid株式会社**

2019年に設立したIT企業で、企業の基幹システムやセキュリティソフトなどの受託開発とITコンサルティング業務を行っています。

同社はGoogleによって開発されたプログラミング言語「Go」やMeta Platforms（旧 Facebook）によって開発された「React(*)」といった新しい技術・言語を積極的に導入しており、雇用創出に加え、インターンシップなどによる県内IT人材の育成が期待されます。

（*）Reactとは、WebサイトやWebアプリ開発に利用されるシステム

■企業概要

代表者：松野 貞之

所在地：東京都大田区平和島 6-1-1

資本金：900万円

設立：2019年2月1日 従業員数：7名

事業内容：ITコンサルティング、システム開発



■進出概要

事業所名：omeroid株式会社 和歌山オフィス

進出場所：Satellite Office kinowa キノワ 79.90㎡

（和歌山市湊紺屋町1-20ワカヤマ第2富士ホテル内）

雇用予定：正社員15名（すべて地元雇用）（3年間）

事業内容：ITコンサルティング、システム開発

操業時期：2023年4月



② 株式会社写易 (シャイ)

2004年に設立したIT企業で、企業向けのソフトウェア開発やシステム構築などのサービスを提供しています。

同社は、自社パッケージによるWEBサイト構築、Microsoft 365等のクラウドソリューション、スマートフォンや生体認証を利用したDXソリューションを積極的に展開しており、その開発保守要員の雇用創出に加え、県内の大学及び専門学校からの新卒採用とインターンシップなどによる県内IT人材の育成が期待されます。

■企業概要

代表者：代表取締役 佐藤 恒雄

所在地：東京都中央区銀座八丁目17-5

資本金：3,000万円

設立：2004年6月29日 従業員数：42名

事業内容：ソフトウェア開発保守、システム構築



■進出概要

事業所名：株式会社写易 和歌山オフィス

進出場所：ファーストビル4階(51.11㎡)

(和歌山市東蔵前丁4番地ファーストビル4階)

雇用予定：正社員15名(うち地元雇用12名)(3年間)

事業内容：ソフトウェア開発保守、システム構築

操業時期：2023年6月



③ 株式会社Pictoria (ピクトリア)

同社は、2017年に設立したIT企業で、AI技術を活用したVTuberライブ配信や、NFTプロジェクト、AIコンテンツ企画・開発などの事業を展開しています。

同社代表取締役が本県出身という御縁もあり、今回新たに白浜にオフィスを設置することとなりました。

白浜オフィスでは、配信オペレーションや保守・運用のほか、3Dモデリングやモーションキャプチャなどの業務を行う予定で、雇用創出に加え、AITuberという新しい技術による地域振興が期待されます。

■企業概要

代表者：明渡 隼人

所在地：東京都中央区八重洲二丁目 8-7

福岡ビル6階 xBridge-Tokyo内

資本金(準備金含む)：4億8,000万円

設立：2017年12月22日 従業員数：38名

事業内容：AIキャラクターの開発及びライブストリーミング事業

AI技術を活用したVTuber・Web3.0事業



■進出概要

事業所名：株式会社Pictoria 白浜オフィス

進出場所：ANCHOR (和歌山県西牟婁郡白浜町 1313番地)

雇用予定：正社員1名

事業内容：AITuberの開発・配信運用

操業時期：2023年8月(予定)



④ 株式会社Respawn（リスポーン）

企業にIT人材を派遣するSES（システムエンジニアリングサービス）事業やWebシステム開発業務を行うIT企業で、地域のIT人材育成を支援する教育サービスも提供しています。

今回新たに、和歌山市にSES事業拠点、白浜町にシステム開発・ワーケーション拠点を同時に開設します。

将来的には、IT人材の教育事業を拡大予定であり、雇用創出に加え、県内IT人材の育成が期待されます。

■企業概要

代表者：代表取締役 芳井 清彦

所在地：東京都世田谷区駒沢5-26-7

駒沢パークサイドテラス ノース 3F

資本金：2,000万円

設立：2016年3月29日 従業員数：81名（R5.3末時点）

事業内容：SES事業、Webシステム開発



■進出概要

事業所名：株式会社Respawn 和歌山ベース

進出場所：九番丁MGビル4階（80.85㎡）

（和歌山市九番丁15）

事業内容：SES事業・エンジニア教育事業

事業所名：株式会社Respawn 白浜ベース

進出場所：Office Cloud 9 オフィス 4 67.2㎡）

（西牟婁郡白浜町才野 1622-1086）

事業内容：システム開発・ワーケーション拠点

雇用予定：正社員20名（うち地元15名、転入5名）（3年間）

操業開始：2023年6月11日



●アビリンピックわかやま 2023 を開催しました

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的に制定された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が2021（令和3）年に改正され、2024（令和6）年4月1日から事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されます。

県では、障害のある人が地域で自立した生活を継続して営むことができるよう、就労系サービス事業所に対し、一般就労への移行を促進するための取組や工賃向上を目指した取組を行っています。

こうした中、7月1日にポリテクセンター和歌山において、アビリンピックわかやま2023（第21回和歌山県障害者技能競技大会）を開催しました。

本大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことを通じて、障害のある方々の職業能力の向上と、企業や社会の障害者雇用への理解を深めることを目的としています。

競技種目はワード・プロセッサ、パソコンデータ入力、喫茶サービス、製品パッキング、ビルクリーニング、オフィスアシスタント、表計算の7種目で、35名の選手が日頃の努力の成果を発揮しました。



競技（ワード・プロセッサ）の様子

なお、各種目で金賞を受賞した方の中から、今年11月17日～19日に愛知県で開催される「第43回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」に和歌山県代表として出場する選手が決定されることとなります。

■アビリンピックわかやま2023 入賞の皆さん

（敬称略）

競技種目	金賞	銀賞	銅賞	努力賞
ワード・プロセッサ	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校 しもはら そうた 下原 聡太	和歌山県立 和歌山さくら支援学校 やの ふうた 矢野 楓太	和歌山県立 和歌山さくら支援学校 にしお みはね 西尾 美羽音	和歌山県立 和歌山さくら支援学校 やまもと のあ 山本 望愛
パソコンデータ入力	紀陽ビジネスサービス 株式会社 とみ だいち 富 大地	ポリテク事務支援センター ソラーナ まるやま しょうこ 丸山 翔子	作業所ボランティア はまばた ゆま 濱端 由真	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校 おかもと たくみ 岡本 拓海
喫茶サービス	ホテルアバローム紀の国 きのした ひろと 木下 裕登	和歌山県立 和歌山さくら支援学校 なかうえ せいご 中上 誠吾	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校 ひろはた しょうおん 廣畑 匠温	
製品パッキング	大阪調理製菓専門学校 さなだ ゆうき 真田 侑輝	紀陽ビジネスサービス 株式会社 いしわた ひらく 石腸 拓	社会福祉法人つわぶき会 つわぶき授産工場 なかにし しんじ 中西 慎二	
ビルクリーニング	就労移行支援事業所 マイパレット いしばし あきふみ 石橋 章史	福祉就労センター つつじが丘苑 おざき てつや 尾崎 哲也		
オフィスアシスタント	紀陽ビジネスサービス 株式会社 いのうえ たかひろ 井上 孝広	紀陽ビジネスサービス 株式会社 みやまえ なな 宮前 奈菜	紀陽ビジネスサービス 株式会社 えのもと ひな 榎本 妃菜	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校 くろだ かれん 黒田 かれん
表計算	就労移行支援事業所 マイパレット いぬまき よしみ 狗巻 嘉実			

●造幣局から「那智の扇祭り」を題材とした七宝章牌を贈呈いただきました

独立行政法人造幣局では、2009（平成 21）年から「日本の祭り」をテーマにした七宝章牌を製造しており、今年は本県の「那智の扇祭り」が題材として選ばれました。

「那智の扇祭り」は、毎年7月14日に行われる熊野那智大社の例大祭で、那智の大滝を舞台に、燃え盛る大松明

を担いだ氏子らが火の粉を散らし参道を練り歩くことから、通称「那智の火祭り」とも呼ばれています。2015（平成 27）年には国の重要無形民俗文化財に指定されており、和歌山を代表する祭りの一つです。

7月3日、知事室において七宝章牌等贈呈式が開催され、独立行政法人造幣局ごとうけんじの後藤健二理事長から知事に対し、完成した七宝章牌「那智の扇祭り」及び那智の扇祭り貨幣セットを贈呈いただきました。



後藤理事長と知事

七宝章牌とは

七宝章牌は、造幣局が勲章製造に用いる七宝技術を駆使して仕上げた金属工芸品です。七宝とは、金属の下地にガラス質の釉薬を盛り付け、焼き付けたもので、盛り付けや焼き付けの作業の出来が、微妙な色合いを左右するため、入念な作業が必要となります。

精巧な技術をもつ熟練した職人が、細心の注意を払って製造した、造幣局の技術が詰まった美しい工芸品です。



七宝章牌「那智の扇祭り」

●WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “6th season” 好評実施中です

県及び県観光連盟では、県内全域に整備された 800km を超えるサイクリングロードを走りながら、より多くの皆さんに和歌山が誇る海・山・川の美しさなどの魅力を思う存分満喫いただくとともに、県内外からの誘客につなげることを目的として、「WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー “6th season”」を5月1日から好評実施中です。

このスタンプラリーは、県内各地に 65 か所のチェックポイントを設け、獲得したスタンプの内容に応じた豪華賞品等が抽選で当たるもので、初心者から上級者までそれぞれのレベルに合わせて参加することができます。

参加方法は、当スタンプラリーの WEB サイト（下記 QR コード）にアクセスし、ユーザー登録を行うだけと至って簡単です。あとは、各チェックポイントを訪れ、現地に設置された看板の QR コードを読み取ることで電子スタンプを獲得でき、獲得スタンプ数に応じて各賞に自動的に応募される仕組みです。

パーフェクト賞のサイクルコンピュータをはじめ、ポイント数やエリアクリアなどにより、ペア宿泊券や WAKAYAMA800 オリジナルジャージなど様々な賞品が当たるほか、「ペダル」ポイントのランキング上位者には順位に応じて、サイクリングジレやサイクリング用携帯ツールセットなどを進呈します。



チェックポイント例
（太平洋岸自転車道終着点記念モニュメント）

本イベントは 2024（令和 6）年 3 月 22 日まで実施していますので、皆さんには是非御参加いただき、無限大の楽しみ方がある「WAKAYAMA800」ライドを体感していただきたいと思ひます。

県は、引き続き、サイクリングを活かした観光振興に全力で取り組むとともに、「太平洋岸自転車道」を含めたサイクリングロードの走行環境や受入環境の一層の充実を図ることで、「サイクリング王国わかやま」としての地位確立に向けて取り組んでいきます。

和歌山県サイクリング総合サイト「WAKAYAMA800」

モバイルスタンプラリー 6th season の他、サイクルトレインを利用したおすすめルートやサイクリングイベントなど和歌山県のサイクリング情報についてお知りになりたい方は、こちら是非御覧ください！



モバイルスタンプラリー WEBサイトQRコード



●「第2回和歌山県人会世界大会」を開催します！

和歌山県は、戦前・戦後の海外移住者数が全国6位の移民県であり、多くの県民がアメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどへ夢を抱いて海を渡った歴史があります。

2019（令和元）年11月、在外・国内の和歌山県人会員がふるさと和歌山へ一堂に会し、和歌山にルーツを持つ方々の郷土への誇りを高めるとともに、県民との相互交流や移民史に対する県民の理解を深める機会を創出することを目的として、「和歌山県人会世界大会」を初開催しました。

大盛況のうちに終えた初開催から4年を経て、本年（2023年）10月、第2回和歌山県人会世界大会を開催します。

第2回大会は、前回大会（約280人）よりも多くの在外県人会からの参加（約500人）を予定しており、前回大会以上に県民と県人会員との交流・つながりを深め、次世代へと県人会活動を継承することを目指します。

■開催概要（予定）

*10月8日（日）の記念式典以外は、在外県人会員のみ対象

10月5日（木）

○ オープニングイベント（18:00～20:00 白浜会館）

内容：県人会や県内国際交流団体・文化団体との交流、地元食材を使用した料理によるおもてなし

10月6日（金）

○ ふるさと巡りツアー（終日 県内8コース）

内容：県人会ゆかりの地域を中心に、学校訪問や地元住民との交流会を実施
（協力）和歌山市、紀の川市、美浜町、みなべ町、新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町
*和歌山市、紀の川市コースでは高野町を訪問

10月7日（土）

○ わかやまスタディーツアー（9:30 広川町・すさみ町）

内容：北米の県人会員が、和歌山の歴史について理解を深めるため、広川町・すさみ町を訪問

○ 中南米県人会シンポジウム（10:30～13:00 ガーデンホテルハナヨ）

内容：県人会活動の活性化と、中南米県人会と本県の相互交流を図るシンポジウムを開催

○ 弁慶まつり参加（15:00～16:30 田辺市）

内容：弁慶ゲタ踊りを踊るなど、地域の祭りに参加

○ 合気道体験（17:00～18:00 田辺市）

内容：合気道の演武の見学や体験を実施

10月8日（日）

○ 和歌山体験ブース（14:00～15:30 ホテルアバローム紀の国）

概要：梅ジュースづくり体験、漆器蒔絵体験、平安衣装体験等

○ 記念式典（16:00～18:00 和歌山県民文化会館）

概要：参加県人会の紹介、県人会代表挨拶、大会宣言など

○ レセプション（19:00～21:00 ホテルアバローム紀の国）

概要：県人会代表謝辞、参加県人会によるパフォーマンスなど

● 「kura Master 2023」で本県の酒類が複数受賞しました！

県では、梅酒の販路拡大に取り組んでおり、2020（令和2）年度に国税庁から地理的表示（GI）に和歌山県産梅を使用した梅酒が「和歌山梅酒」に指定されたことをきっかけとして、2021（令和3）年度からフランスにてGI「和歌山梅酒」のブランド化を推進しています。

この度、「Kura Master2023」において、日本酒コンクール5部門（純米酒部門、純米大吟醸酒部門、サケ スパークリング部門、クラシック酎部門、古酒部門）に、梅酒コンクールが追加され、過去最多の1,192銘柄が出品されました。

トップソムリエが審査員として多数参加する本コンクールでは今年、本県の梅酒が複数受賞し、フランスにおける本県産の酒類の評価が高まりを見せています。本県の受賞銘柄について、以下のとおり御紹介しますので、皆さん是非御賞味ください。

■梅酒（102銘柄がエントリー）

受賞	銘柄	蔵元名
梅酒コンクール プラチナ賞	備長炭のしらべ	尾崎酒造 株式会社
	高田の梅酒	有限会社 紀州高田果園
	雑賀 梅酒	株式会社 九重雑賀
	JAPANESE CRAFT LIQUEUR くまの	プラム食品 株式会社
梅酒コンクール 金賞	かみはやさんの梅酒（白）	株式会社 岡畑農園
	うめよし善-ZEN-	株式会社 紀州本庄うめよし
	紀州浪漫	筋本農園
	純米酒 黒牛仕立て 梅酒	株式会社 名手酒造店

* プラチナ賞11銘柄のうち4銘柄、金賞23銘柄のうち4銘柄を本県産の梅酒が受賞

■日本酒（1,090銘柄がエントリー）

受賞	銘柄	蔵元名
純米大吟醸酒部門 プラチナ賞	紀土-KID- 純米大吟醸 精米歩合四十五	平和酒造 株式会社
純米大吟醸酒部門 金賞	雑賀 純米大吟醸 山田錦	株式会社 九重雑賀
	紀土-KID- 純米大吟醸	平和酒造 株式会社
	紀土 無量山 純米大吟醸 精米歩合20	平和酒造 株式会社
純米酒部門 金賞	紀土-KID- 純米	平和酒造 株式会社

● 県立近代美術館で「なつやすみの美術館 13 feat. 橋本知成」が開催中です

県立近代美術館では、夏休みを利用して子供や大人に様々な美術の楽しみ方を体験していただこうと、2011（平成23）年から「なつやすみの美術館」シリーズを開催し、現在活躍する和歌山ゆかりの作家の作品と、近代美術館の収蔵作品（コレクション）を合わせて、新しい視点から美術の世界へ御案内します。

13回目を数える今回は、和歌山県湯浅町出身の橋本知成さん（1990年ー）の作品を収蔵作品と共に御紹介します。

1990（平成2）年、湯浅町で生まれた橋本さんは、2017（平成29）年、金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士課程で博士学位を取得。陶を素材に独特の表情をもった作品を制作し、2019（令和元）年にはLOEWE Craft Prize 2019のファイナリストに選出され、作品がヴィクトリア&アルバート美術館に収蔵されるなど、高い評価を得ています。

近代美術館では橋本さんの作品と収蔵作品を組み合わせ、見るものに働きかけてくる作品の存在のあり方を探ります。

皆さんも、この夏休みを美術館で過ごされてはいかがでしょうか。



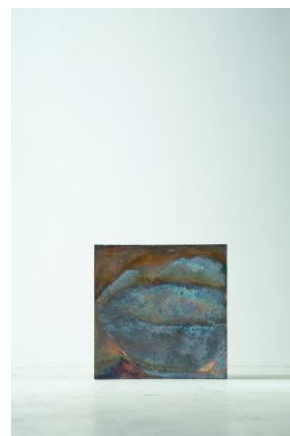
橋本知成さん photo: Gentoku Katakura



橋本知成《Untitled》2021年
個人蔵 photo:Gentoku Katakura



橋本知成《Untitled》2023年
個人蔵 photo:Gentoku Katakura



橋本知成《Untitled》2023年
個人蔵 photo:Gentoku Katakura

<開催概要>

会 期 令和5年7月11日（火）～ 令和5年9月10日（日）
 開館時間 9時30分～17時00分（*入館は16時30分まで）
 休 館 日 毎週月曜日（*月曜日が祝休日の場合は次の平日：7月18日（火））
 入 館 料 一般520円(410円)・大学生300円(260円) *（ ）内は20名以上の団体料金
 *高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料
 *第1日曜日（8月6日、9月3日）は無料
 *第4土曜日（7月22日、8月26日）は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

● 県立紀伊風土記の丘で令和5年度夏期企画展「紀伊の地を馬が駆ける」を開催中です

県立紀伊風土記の丘では、夏期企画展「紀伊の地を馬が駆ける」を開催中です。

今から約1500年前、古墳時代の日本列島ではウマの導入によって交通革命が起きました。ウマは各地で移動、運搬に用いられ、東日本では広大な牧で飼育も行われました。また、有力古墳の埋葬施設には馬具や胡籛ぼくころくが供えられたことから、ウマを使役に利用しただけでなくその保有自体が被葬者の軍事力やステータスを示したと考えられます。

紀伊では、5世紀初め頃にすでにウマ・ウシが飼われていたことが発掘された骨や歯からわかります。特に製塩、漁労を行った海辺の遺跡（和歌山市西庄遺跡）では多くの骨や歯が出土しており、ウマ・ウシが塩や海産物の運搬に用いられたとみられます。このようにウシもウマと同様に、この時期の交通革命の一翼を担ったとみられます。

紀伊では、5世紀初め頃にすでにウマ・ウシが飼われていたことが発掘された骨や歯からわかります。特に製塩、漁労を行った海辺の遺跡（和歌山市西庄遺跡）では多くの骨や歯が出土しており、ウマ・ウシが塩や海産物の運搬に用いられたとみられます。このようにウシもウマと同様に、この時期の交通革命の一翼を担ったとみられます。



展示の様子



古墳時代のウマの全身骨格は和歌山初展示です!!

展示されるのは、和歌山では本展が初となりますので、皆さん是非お越しください。

本展では、古墳時代と古代・中世までのウマと関わりのある考古資料、発掘された当時のウマの骨や歯などの遺存体、そして、近世以降の歴史資料や民俗資料などを通じて、ウマと人がどのようにかかわってきたのかを紹介します。

なお、古墳時代のウマの全身骨格が展示されるのは、和歌山では本展が初となりますので、皆さん是非お越しください。

<開催概要>

会 期 令和5年7月15日（土）～ 令和5年9月3日（日）

開館時間 9時00分～16時30分（*入館は16時まで）

休 館 日 毎週月曜日（*月曜日が祝休日の場合は次の平日：7月18日（火））
年末年始（12/29～1/3）、展示替期間

入 館 料 一般190円(150円)・大学生90円(70円) *（ ）内は20名以上の団体料金

*高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料
*毎月1日は入館料無料（1日が休館日の場合は次の開館日）

●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

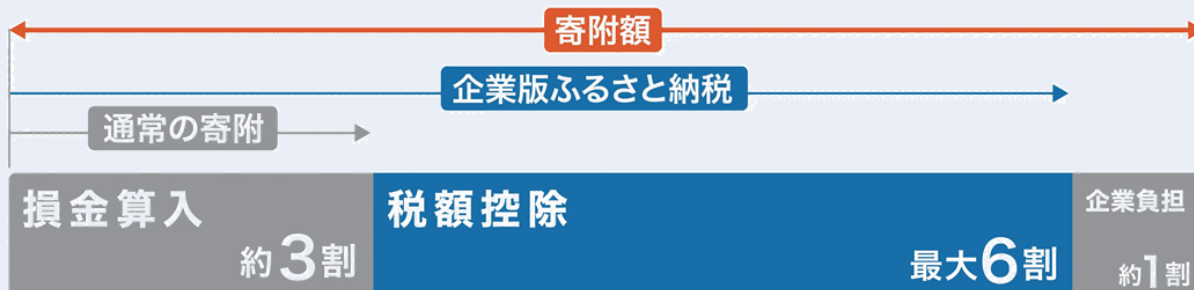
企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。
*和歌山県の「地方創生プロジェクト」(2023年度)は次ページに掲載しています。
- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

【税軽減のイメージ】



- *本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。
- *1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。
- *寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

2023年度和歌山県のプロジェクト一覧

成長志向創業者の育成・支援による地方創生

(概要)

「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、成功した起業家が次の起業家を育成・支援

(事業年度)

2022年度～2024年度

大阪・関西万博を見据えた
「新たな旅のスタイル」普及・促進

(概要)

デジタル・アウトドアを主眼にした「新たな旅のスタイル」の普及・促進

(事業年度)

2022年度～2024年度

ポストコロナ時代の若者就職支援による
県内定着・移住促進

(概要)

高卒就職者の県内定着や大学生・第二新卒者等のUターン就職による本県への移住を促進

(事業年度)

2022年度～2024年度



わかやま地域の賑わい総合対策プロジェクト

(概要)

ワーケーションの受け入れ強化や、多様なニーズに応じた移住・定住に取り組む

(事業年度)

2020年度～2024年度

最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を
核とした地方創生プロジェクト

(概要)

ロケットの打上げ応援イベントの実施や企業と連携したプログラミング教育による高度人材の育成

(事業年度)

2022年度～2024年度

明日へつなく持続可能な農林漁業の実現に
向けた好循環創出プロジェクト

(概要)

地域の魚介類、ジビエを地域で消費・利益を還流させる生産と消費の好循環を創出し、農林漁業と地域の持続可能性を高める

(事業年度)

2023年度～2024年度



教育旅行向けほんまもん体験事業者等支援

(概要)

体験型観光事業者の受入体制の強化、安全施策等に資する設備・備品の設置や県外学校等に対する誘客・持続可能な受入環境整備の促進

(事業年度)

2023年度～2024年度



和歌山県まち・ひと・しごと創生推進計画

(概要)

ひとを育む事業・しごとを創る事業・いのちを守る事業・くらしやすさを高める事業・地域を創る事業の実施により、和歌山県の課題改善に取り組む

(事業年度)

2022年度～2024年度



詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 企画部 地域振興局 地域政策課 企画振興班

TEL：073-441-2371



●タウンミーティングの開催状況について（5月～6月）

県民が笑顔になる和歌山を築くため、知事が直接県民の声を聴き、その思いを活かした県政を共につくることを目的に、地域で様々な活動をされている方々と意見交換を行っています。

開催日	開催時間	開催場所 (市町村)	概要等
5月2日	16:00 ～ 17:00	村民会館 (北山村)	他地域との交流、村外や観光客へのPRについて意見交換 
5月12日	13:30 ～ 14:30	FLAT 旧民宿小浜荘 (湯浅町)	移住定住の推進、道路整備、古民家活用等について意見交換 
	15:15 ～ 16:15	いなむらの杜 (広川町)	農林業の振興、古民家活用等について意見交換 
5月16日	13:30 ～ 14:30	国民宿舎 紀州路みなべ (みなべ町)	梅の販売・消費、梅農家の取組や現状、農福連携、特用林産物の現状等について意見交換 
5月22日	16:00 ～ 17:00	くつろぎたいのも山々 (かつらぎ町)	有機農業の普及促進等について意見交換 
6月10日	9:45 ～ 10:45	ドラゴンパーク (田辺市龍神村)	林業振興、移住推進施策、観光振興の取組等について意見交換 
	14:15 ～ 15:15	中辺路町 (田辺市)	道路整備、地域振興、観光施策等について意見交換 
6月30日	13:00 ～ 14:00	旧県会議事堂 (岩出市)	地域の活性化（居場所づくり、アート等）、観光振興、産業振興、農業振興等について意見交換 

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の御案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附を頂いた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 大亦、池田、高松、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 西中

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①生涯スポーツ・文化の振興
- ②子供たちの教育環境の充実
- ③がん対策の充実
- ④犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑤世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑥南紀熊野ジオパークの推進
- ⑦地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑧学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑨わかやまの美しい海づくり
- ⑩わかやまの文化財の保護
- ⑪大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑫わかやまのナショナル・トラスト
- ⑬わかやまの農林水産業の振興
- ⑭子育て支援の充実



皆さまからいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

* ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完了させることが可能です。

- * 申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- * 自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。
(自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。)



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



●ふるさと和歌山応援寄附「令和4年度寄附金活用事業実績報告」

ふるさと和歌山応援寄附の取組に多数の皆様の御理解と御賛同を頂き誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、令和4年度は3,083名の方から約8,357万円の温かい御寄附を賜りました。

また、心温まる力強い応援のメッセージも多数いただきました。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、令和5年度以降の事業に活用させていただきます。

なお、令和3年度に頂いた寄附金は、次のとおり令和4年度事業に活用させていただきましたので御報告申し上げます。(残りの寄附金については、令和5年度以降の事業に活用させていただきます。)

南紀熊野ジオパークの推進

【寄附金の活用額 1,457千円】

南紀熊野ジオパークセンターの展示設備の充実に活用させていただきました。



ジオ散歩体験装置



南海トラフ掘削杭アクセスコーナー

がん対策の充実

【寄附金の活用額 1,222千円】

がん患者の方の支援のために活用させていただきました。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

【寄附金の活用額 6,840 千円】

高野・熊野の参詣道をはじめとする世界遺産の維持管理や修繕、災害復旧のために活用させていただきました。



熊野参詣道潮見峠越の被災状況



復旧後の状況

学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

【寄附金の活用額 5,729 千円】

○県立全日制高等学校の図書の実充【2,586 千円】

県立全日制高等学校 29 校の図書購入費の一部として活用させていただきました。

○県立図書館の蔵書の充実【3,143 千円】

和歌山県立図書館の蔵書充実の全事業費 59,831 千円の一部として活用させていただきました。

なお、本事業全体で、県立図書館本館（和歌山市）は 11,526 冊、紀南分館（田辺市）は 4,651 冊の蔵書を充実させました。

大切なふるさとの森を守り育てる

【寄附金の活用額 4,499 千円】

松くい虫被害防止対策として、美浜町煙樹ヶ浜での薬剤の地上散布を行うために活用させていただきました。



薬剤散布の様子



煙樹ヶ浜の松林

わかやまの文化財の保護

【寄附金の活用額 3,381 千円】

県内の文化財の保存や整備のために活用させていただきました。



鈴木屋敷の整備（海南市）



施無畏寺鎮守社の修理（湯浅町）

わかやまの美しい海づくり

【寄附金の活用額 5,117 千円】

県内の海水浴場の整備や海岸保全施設の修繕に活用させていただきました。



整備中の白良浜海水浴場（白浜町）



整備後の状況

新型コロナウイルス感染症対策

○認知症患者受入支援

【寄附金の活用額 40,454 千円】

新型コロナウイルス感染症対策として、認知症患者等の受入支援のために活用させていただきました。

犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

○不幸な猫をなくすプロジェクト 【寄附金の活用額 6,623 千円】

不幸な命をなくすために地域猫対策を実施して下さっている方への支援として、地域猫の不妊去勢手術（令和4年度実績 1,593 匹）の費用の一部として活用させていただきました。不妊去勢手術の際に目印のため耳先をV字にカットされた猫は、元の場所に返され地域猫として1代限りの命を全うします。

なお、猫の殺処分数は、プロジェクト開始前と比較し、2,478 匹（平成27年度）から 398 匹（令和4年度）と7年間で84%減少しています。



不妊去勢手術の様子



耳先をV字にカットされた地域猫

地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

○和歌山県若手中核人材確保強化【寄附金活用額 500 千円】

本事業に参画している県内企業に研究開発職・技術職として、定着した方への奨学金返還支援に活用させていただきました。



合同企業面接会の様子

子供たちの教育環境の充実

【寄附金の活用額 6,280 千円】

県立高等学校や県立特別支援学校の学習用機器等の整備のために活用させていただきました。



教育環境充実のために購入した備品等

わかやまの農林水産業の振興

農林水産試験研究の充実 【寄附金活用額 1,577 千円】

農林水産業者の所得向上や地域の活性化につながる新技術の開発に活用させていただきました。

次世代農業リーダー育成事業 【寄附金活用額 17,315 千円】

幼少期から就農に至るまで継続的に農業教育を実施するとともに、地域農業の発展を目指す青年農業者等の支援に活用させていただきました。

○青年リーダー育成支援【寄附金活用額のうち、5,098 千円】

将来あるべき地域農業の姿(将来ビジョン)の立案と、その実現に向けた青年農業者等の取組を支援する補助事業の財源として活用させていただきました。

令和4年度は、農業の関係人口増加と就農のきっかけづくりを目的に、白浜町で体験農園の開設に取り組む事業を採択し、必要となる設備や機器の整備を支援しました。

○農業教育・研究施設のパワーアップ【寄附金活用額のうち、12,217 千円】

農林大学校、就農支援センター、うめ研究所において、教育・研究用の施設機器整備に活用させていただきました。



教育・研究環境充実のために導入した施設・機器

* 「生涯スポーツ・文化の振興」、「わかやまのナショナル・トラスト」を用途として指定いただいた寄附金については、ふるさと和歌山応援基金に積み立て、令和5年度以降に活用させていただきます。

本年も引き続き、ふるさと和歌山応援寄附を通じて和歌山県を応援してくださいませようお願いします。

制度の詳細につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」を御覧ください。

また、寄附申出時に公表に同意していただいた方の応援メッセージ等も掲載していますので、併せて御覧ください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

イベント情報（8月上旬～10月下旬）

*最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
8月5日	紀州おどり「ぶんだら節」	和歌山城周辺 (和歌山市)	紀州おどり実行委員会 073-435-1234
8月11日	紀文まつり	有田川河畔 (有田市)	有田市産業振興課 0737-22-3624
8月中旬	興国寺火祭り	興国寺 (由良町)	興国寺 0738-65-0154
8月下旬	二河の火祭り	三光山金剛寺 (那智勝浦町二河)	那智勝浦町観光企画課 0735-52-2131
9月上旬	キャンドルライトイルミネーション in あらぎ島	あらぎ島 (有田川町)	有田川町清水行政局産業振興室 0737-22-7105
9月中旬	エルトゥールル号追悼式典	トルコ軍艦遭難慰霊碑前 (串本町)	串本町総務課 0735-62-0555
	筆供養祭	和歌浦天満宮 (和歌山市)	和歌浦天満宮 073-444-4769
9月下旬	献湯祭	熊野本宮大社 (田辺市)	熊野本宮大社 0735-42-0009
10月上旬	弁慶まつり	鬮鶏神社他 (田辺市)	弁慶まつり実行委員会 0739-22-5064
10月中旬	「笑い祭」丹生神社例大祭	丹生神社 (日高川町)	日高川町観光協会 0738-22-2041
	泣き相撲	山路王子神社 (海南市)	山路王子神社 073-494-0455
	熊野速玉大社例大祭、御船祭、神馬渡御式	熊野速玉神社 (新宮市)	熊野速玉大社 0735-22-2533
10月下旬	稲むらの火祭り	稲むらの火広場 (広川町)	稲むらの火祭り実行委員会 0737-63-6283

自然・風物情報（8月上旬～10月下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
8月上旬	ぶどう狩りオープン	有田巨峰村 （有田川町） 紀南観光ブドウ園 （田辺市）	有田川町商工観光課 0737-52-2111 紀南観光ブドウ園 0739-24-2305
8月中旬	梨狩りオープン	各農園 （かつらぎ町）	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月下旬	イチジク出荷最盛期	紀の川市	紀の川市農林振興課 0736-77-2511
9月上旬	クエ初入荷	日高町	日高町観光協会 0738-63-3806
	コスモスの見頃	鷲ヶ峰コスモスパーク （有田川町）	有田川町商工観光課 0737-52-2111
9月中旬	極早生温州みかん 初出荷	有田市、田辺市	JA ありだ 0737-53-2311 JA 紀南 0739-23-3450
	ススキの見頃	生石高原 （紀美野町、有田川町）	レストハウス山の家おいし 073-489-3586
10月上旬	「落ちアユ」漁解禁	県内各河川	和歌山県内水面漁業 協同組合連合会 0736-66-0477
10月中旬	「大きがり」 刈り取った稲の天日干し	田辺市龍神村	龍神観光協会 0739-78-2222
	アジアカエビの水揚げ	雑賀崎漁港、和歌 山北漁港、海南市 漁港 （和歌山市、海南市）	海草振興局農業水産 振興課 073-441-3385
10月下旬	アサマリンドウ見頃	清川天寶神社 （みなべ町）	みなべ観光協会 0739-74-8787

～編集後記～

3ヶ月ぶりとなる今年度2号目の「和歌山だより」、いかがでしたでしょうか。ようやく梅雨が明けたものの、連日、災害級の暑さが続いており、皆様もすでにこの暑さにうんざりされているのではと思います。また、今年も和歌山県をはじめ、九州・中国地方などでも大雨による災害が相次いでおります。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、「文藝春秋」の本年5月号に、「私の人生を決めた本」という特集がありました。正にその後の人生に大きな影響を及ぼした本を著名人が紹介するものでありますが、皆様にも、このような自らの人生を決めた本というものはあるでしょうか。特にこれといった趣味のない私も、趣味はと聞かれば読書と答えてきたように、学生時代から様々な本に触れてきました。ただ、ほとんどの場合、流し読みで、「人生を決める」までに入り込み、考え抜きながら読むようなことは、あまりなかった気がしていますが、それでも、2回、3回と読み返すような今も心に残る本は何点かあります。その一つが、日米間の戦争に翻弄される日系1世、2世の壮絶な人生を描いた山崎豊子の大作「二つの祖国」です。あることがきっかけで、今、改めて読み返しているところですが、生き様や運命というものについて深く考えさせられる作品です。

折しも、本号16ページに掲載のとおり、10月5日から4日間、4年ぶり2回目の「和歌山県人会世界大会」を、県庁あけて開催します。現在、国際課を中心に、その準備にあたっているところですが、この「二つの祖国」で描かれているような移民の方々の苦難の歴史にも思いを致しながら準備を万端にし、世界大会にお越しになる皆様方をお迎えしたいと思っております。

今回も最後まで御覧いただき、ありがとうございました。

知事室 秘書課長 津井田 一陽



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
QRコード



ふるさと和歌山
応援サイト QRコード

2023年（令和5年） NO.179

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026

*個人情報につきましては、「和歌山だより」

の発行以外の目的には、使用いたしません。

